

総合特別区域の進捗に係る評価
〔観光等分野〕

令和元年度

和歌山県「高野・熊野」文化・地域振興総合特区

〔指定：平成23年12月、認定：平成24年3月〕

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (4.8+4.6)/2=4.7

4.7

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	世界遺産関連地域における観光客総数(延べ人数)	99%	4
2	世界遺産関連地域における外国人宿泊客総数(延べ人数)	101%	5
3	世界遺産を管理する市町や所有者が実施する維持管理事業及び保存修理事業に対する年間補助事業数	105%	5
4	地域通訳案内士登録総数	114%	5
5	地域通訳案内士の活動割合	-	-

評価指標毎の進捗の評価の平均値 (5×3+4×1+3×0+2×0+1×0)／4=4.8

4.8

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.6

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (4.5+4+4.5)/3=4.3

4.3

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.5

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.8

- ・中長期を見据えた着実な取組の成果により、総じて高い達成状況で推移しており、大変優れている。
- ・SDGsに貢献する持続的な観光モデルとして、世界遺産の保全と活用とのバランスを引き続き注視したい。
- ・英語以外の言語の通訳案内士の育成やプロモーション事業など多角的な取組の評価が高い。今後、コロナ禍等により外国人観光客の誘致が難しい環境となるが、長期的には現在の方角に間違いはなく、新たな工夫を取り入れて前進されることを期待。
- ・課題は、通訳案内士の就業促進。産業経済の活性化と地域での新たな就労の場づくりという観点から、着地型旅行商品を開発し、販売促進のために市場流通サイト等に掲載することを考えていく必要がある。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.8

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.7+4.3+4.8 \times 2) \div 4 = 4.7$

4.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。